

## 確認テストchallenge③-I (計画)

---

### 問題 1

建築士の行う設計業務等に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 一級建築士、二級建築士及び木造建築士は、国土交通大臣の免許を受け、一定規模以上の建築物の設計、工事監理その他の業務を行う者で、常に品位を保持し、業務を行うに当たっては、公正さ、誠実さが求められる。
2. 建築関連5団体によって制定された「地球環境・建築憲章」(2000年)において、「建築はそれ自体完結したものとしてでなく、地域の、さらには地球規模の環境との関係においてとらえられなければなりません。」と示されている。
3. 建築設計にかかわる者は、依頼者の要請に応えるとともに、当該建築物の利用者及び社会に対する公益性に配慮して、公正な立場で業務を遂行することが重要である。
4. 一級建築士、二級建築士及び木造建築士は、設計及び工事監理に必要な知識及び技能の維持向上に努めなければならない。

### 問題 2

日本の歴史的な建築物に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 光浄院客殿の平面は、「匠明」の殿屋集に描かれている「主殿の図」とほぼ同じであり、桃山時代の標準的な武家の住宅の形式を示すものと考えられている。
2. 法隆寺東院伝法堂は、桁行が7間であるが移建前は5間であり、聖武天皇橘夫人の邸宅の一屋を移して建立したものと考えられている。
3. 新薬師寺本堂は、一重、寄棟造りであり、前面1間を吹放しとしている。
4. 三仏寺投入堂は、修験の道場として山中に営まれた三仏寺の奥院であり、岩山の崖の窪みに建てられた懸造りである。

### 問題 3

近代建築史に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。


1. アーツ・アンド・クラフツ運動は、手仕事とデザインを結びつけて生活と芸術を統一することを主な目的とし、ウィリアム・モリスが主導したデザイン運動である。
2. アール・ヌーヴォーは、19世紀末にヨーロッパで流行した新しい装飾美術の様式であり、有機的な自由曲線の組合せを鉄やガラス等を用いて作り出している。
3. アドルフ・ロースは、「必要様式」という考え方を提示し、機能主義・合理主義の設計理論の先駆者とされており、代表的な作品に「ウィーン郵便貯金局」がある。
4. 近代建築の流れにおいて、機能主義を表す考え方である「形態は機能に従う」は、ルイス・サリヴァンの言葉である。




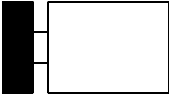
### 問題 4

公共建築の計画に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 特別養護老人ホームにおいて、少人数のグループに分けて介護するために、共用空間を数室の居室とともにユニット化し、そのユニットを複数配置する計画とした。
2. 劇場の搬入口において、プラットホームの高さを1 mとし、ウイング式（荷台の側面と屋根面を一体として上方に開くことができるもの）の大型トラックの駐車スペースの有効天井高を4 mとした。
3. 200床の入院設備のある地域医療支援病院において、電気室・機械室の床面積の合計を、延べ面積の約10%とした。
4. 博物館の文化財の収蔵・保存において、低湿収蔵庫及び高湿収蔵庫の前室として、ならし室をそれぞれに設けた。

問題 5

事務所ビルにおけるコアの型とその一般的な特徴について、次の組合せのうち、**最も不適当な**ものはどれか。なお、コアの型に示す図は平面略図であり、はコアを示す。

	コアの型	一般的な特徴
1.	センターコア 	面積効率がよく、大きな床面積の場合に適しているが、二方向避難の計画が難しい。
2.	両端コア 	二方向避難の計画はしやすいが、フロアを分割する場合には廊下が必要となるため面積効率が低下する。
3.	片コア (偏心コア) 	共用部の管理がしやすく、高層建築物に適しているが、二方向避難の計画が難しい。
4.	外コア (分離コア) 	整形な執務空間を確保することができるが、執務空間とコアとの接続部でエキスパンションジョイントを設ける等の検討が必要である。

問題 6

階段及び傾斜路の計画に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 階段を昇るときの安全性を考慮し、段鼻を出さないように蹴込み板を設け、蹴込みを20mmとした。
2. 吹抜け空間において、段板の側面を見せるために、側桁階段とした。
3. 車いす使用者が利用する屋外の傾斜路の勾配を  $\frac{1}{25}$  とし、手摺は設けなかった。

4. 屋内の階段に代わる歩行用の傾斜路の勾配を、 $\frac{1}{12}$ とした。

#### 問題 7

建築物の各部の寸法等に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 地下階に駐車場を設ける大規模店舗において、売場のレイアウトと駐車場の駐車台数の効率を考慮して、柱割りを8.5m×8.5mとした。
2. 高層事務所ビルのエレベーターの計画において、低層用5台と高層用5台とを幅4mの通路を挟んで対面配置とした。
3. 図書館の開架閲覧室における複式(両面使用型)書架の中央支柱の心々距離については、車椅子使用者同士がすれ違うことができるように、250cmとした。
4. 普通乗用車を駐車させる屋内駐車場の計画において、1台当たりの所要面積をなるべく少なくするため、直角駐車とした。

#### 問題 8

建築の計画に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. パーソナルスペースは、人の身体を囲んでいる心理的な領域のことであり、立位より平座位のほうが大きくなる。
2. オフィスランドスケープは、固定間仕切を使わず、ローパーティション・家具・植物等によって、適度なプライバシーを保った事務空間を形成することである。
3. コンバージョンは、既存建築物の用途変更・転用のことであり、都市部においては事務所ビルを集合住宅に改修した例もある。
4. 劇場における舞台の上手は、客席から見て舞台の右側のことである。

## 問題 9

劇場、競技場等の客席・観覧席の計画に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 車いす使用者用客席・観覧席の数(可動席スペースを含む。)は、施設内容や規模に応じ、客席・観覧席総数の0.5～1%以上とする。
2. 車いす使用者用客席・観覧席は、少なくとも同時に2以上の車いす使用者が利用できる専用スペースとして、固定位置に確保する。
3. サイトライン(可視線)は、客席・観覧席の各々の人が、前列の人の頭又は肩を越して視焦点(舞台や競技場)を見ることができ視野の限界線のことである。
4. 客席・観覧席の出入口から車いす使用者用客席・観覧席へ至る客席・観覧席内の通路は、有効幅員を120cm以上とするとともに、区間100m以内ごとに車いすが転回することができる140cm角以上のスペースを設ける。

## 問題 10

都市開発等に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 「土地区画整理事業」は、土地の区画形質を変更し、土地の一部を減歩することにより、公共施設の整備を図る事業である。
2. 「住宅地区改良事業」は、改良地区内の不良住宅を除却し、改良住宅の建設、公共施設の整備により、良好な住宅地区の形成を図る事業である。
3. 「特定街区制度」は、特定の大都市地域等で共同でビルを建築する者に対し、自治体や国が補助を行う制度である。
4. 「第一種市街地再開発事業」は、施行地区内の建築物等をすべて除却し、新たにビルを建設し、従前の権利者の権利を新しいビルに対する権利に移し換える事業である。

## 問題 1 1

都市空間についての著書に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. ケヴィン・リンチは、著書「都市のイメージ(The Image of the City)」(1960年)において、都市空間から抽出されるイメージを構成する要素として、移動路(path)、境界(edge)、地区(district)、結節点(node)、目印(landmark)の五つを提示した。
2. ゴードン・カレンは、著書「都市の景観(The Concise Townscape)」(1971年)において、都市の景観の価値を、歩行者によって体験されるシーケンスの中に見いだそうとした。
3. ロバート・ヴェンチャーリは、著書「ラスベガス(Learning from Las Vegas)」(1972年)において、ラスベガスの都市景観の多様な空間要素を記号論的な視点から分析した。
4. クリストファー・アレグザンダーは、著書「パターン・ランゲージ(A Pattern Language)」(1977年)において、都市空間における人々の行動がツリー構造で説明できることを示した。

## 問題 1 2

高齢者及び障害者の利用に配慮した住宅の計画に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 階段に手すりを設けるに当たり、両側に手すりを設ける余裕がなかったので、昇る時の利き手側に手すりを設けた。
2. 階段の始点・終点部分に、人感センサーによって点灯する足下灯を設けた。
3. 台所の調理台、流し台、レンジ及び冷蔵庫の配置は、車いす使用者が利用しやすいように、L字型とした。
4. 玄関の土間とホールとの段差が10cmであったので、上がり 框<sup>かまち</sup>の脇には腰掛台を設けるとともに壁には手すりを設けた。

### 問題 1 3

集合住宅の作品(設計者)に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. シーランチ・コンドミニアム(チャールズ・ムーア他)は、10戸の週末用住居群を海の眺望を考慮して、敷地の勾配に沿って中庭を囲むように配置した低層集合住宅である。
2. カサ・ミラ(アントニオ・ガウディ)は、波状の有機的なファサードを有し、各住戸の平面が異なる高層集合住宅である。
3. ユニテ・ダビタシオン(ル・コルビュジエ)は、メゾネット型住戸を主とし、多様な施設を複合した高層集合住宅である。
4. ハーレン・ジードルンク(アトリエ5)は、市街地に建つ商業施設を複合した高層集合住宅である。

### 問題 1 4

自然エネルギーを利用した建築物のパッシブデザインにおけるパッシブヒーティングの原則に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 建築物の断熱・気密性能を高める。
2. 建築物の集熱性能を高める。
3. 建築物の日射遮蔽性能を高める。
4. 建築物の蓄熱性能を高める。

### 問題 1 5

駐車・駐輪場計画に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 自転車の駐輪スペースを、1台あたり幅60cm × 長さ190cmとし、通路幅を3mとした。
2. 自転車の駐輪場に固定用補助器具を設けることで、通常の2倍の駐輪台数を確保した。
3. 利用頻度の高い機械式立体駐車設備の計画において、出入りに時間がかからない垂直循環方式を採用した。
4. 一般乗用車の駐車場の計画において、車体下部の損傷防止と運転者へ勾配の始めと終わりを知らせるため、斜路の本勾配の $\frac{1}{2}$ の緩和勾配をそれぞれ6mの長さで設けた。

## 問題 16

保育所の計画に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 園庭は、年齢に応じて異なるタイプを計画し、1、2歳児用の園庭には芝生を植えた緩やかで小さな丘を設けた。
2. 保育室は、乳児と幼児の数の変動に対応できるように、乳児用と幼児用とを間仕切のないワンルームとした。
3. 年長児用保育室には、集団で遊ぶための大きな空間のほかに、絵本コーナーやごっこ遊びのコーナーとして小さな空間を設けた。
4. 便所は、年齢に応じて異なるタイプを計画し、1、2歳児用の便所では便器間の仕切りを設けずオープンなつくりとした。

## 問題 17

次の建築物に関する記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 東京国際展示場(通称：東京ビッグサイト)は、4本の巨大な柱によるスーパーストラクチャーによって支えられた「コングレスタワー」と呼ばれる会議棟が施設のシンボルとなっている。
2. 福島県産業交流館(通称：ビッグパレットふくしま)は、楕円に近い形状をもつ「マザールーフ」と呼ばれる大屋根に特徴があり、「ビッグパレット」の由来となっている。
3. 横浜国際平和会議場(通称：パシフィコ横浜)は、パーゴラのある中央広場を囲むように、劇場棟、展示棟及び会議棟が配置されており、屋根の形状については大空に羽ばたく<sup>おおとり</sup>鳳がイメージされている。
4. 千葉県日本コンベンションセンター国際展示場(通称：幕張メッセ)は、シルエットが山並みをイメージさせる第Ⅰ期計画の建築物と、屋根形状が凹面から凸面に波のように変化する第Ⅱ期計画の建築物があり、これらがつくりだすスカイラインに特徴がある。



## 問題 18

建築物の設計・工事監理の契約に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 建築士法に定められた、設計又は工事監理の契約を締結する際に行う重要事項(業務の内容及びその履行に関する事項)の説明等は、管理建築士以外の建築士が行ってはならない。
2. 建築設計業務、監理業務等の契約において、報酬の変更、再委託の条件、著作権の扱い、契約の解除等の諸条項については、通常、建築設計・監理等業務委託契約約款において示される。
3. 工事監理者は、「工事と設計図書の照合及び確認」を行うに当たり、一般に、設計図書に定めのある方法による確認のほか、目視による確認、抽出による確認、工事施工者から提出された品質管理記録の確認等、確認対象工事に応じた合理的方法とすることができる。
4. 建築士事務所の開設者が、その業務に関して請求することのできる報酬については、国土交通大臣がその基準を定めている。

## 問題 19

建築物の建設工事におけるプロジェクトマネジメントに関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. フィージビリティ・スタディは、計画されている内容の実現の可能性について、都市計画等の上位計画との整合性、技術的な課題、採算性等を検討するものである。
2. デュー・デリジェンスは、建設プロジェクトを進めるに当たって、目的、方法、予算等を検討しながら事業全体の骨格を決めることである。
3. コンソーシアムは、二つ以上の個人、企業、団体、行政機関等で組織され、共通の目標に向かって協働する団体のことである。
4. コストオン方式は、一般に、建築主が専門工事業者を選定し工事費を決定したうえで、その工事費に元請の管理経費を加えて建築の元請会社に工事を発注する方式である。

## 問題 20

建築積算に関する次の記述のうち、建築工事建築数量積算研究会「建築数量積算基準」に照らして、**最も不適当な**ものはどれか。

1. コンクリートの数量において、窓、出入口等の開口部によるコンクリートの欠除は、建具類等の開口部の内法寸法とコンクリートの厚さによる体積とし、1箇所当たりの開口部の体積が $0.5\text{m}^3$ 以下の場合、コンクリートの欠除はないものとする。
2. 型枠の数量において、コンクリートの上面が傾斜している場合、その勾配が $\frac{3}{10}$ を超えるものについては、その部分の上面型枠又はコンクリートの上面の処理を計測・計算の対象とする。
3. 鉄骨の溶接の数量において、原則として、溶接の種類に区分し、溶接断面形状ごとに長さを求め、すみ肉溶接脚長 6 mm に換算した延べ長さとする。
4. 全面がガラスである建具類のガラスの数量において、かまち、方立、棧等の見付幅が 0.1m を超えるものがあるときは、その面積を差し引いた面積とする。